

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 163-1566
住 所 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
氏 名 野村不動産株式会社
代表取締役社長 松尾 大作

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	野村不動産株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市幸区堀川町72番34号 ラゾーナ川崎東芝ビル		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業， 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	住宅販売、オフィスビル・物流施設・ホテル賃貸、商業施設運営		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		3,196 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2023 年度 ～ 2025 年度 (報告年度 2023 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2022 年度)	第1年度 (2023 年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)	目標排出量
排出量 (t-CO2)	(実) 4,291 (調) 5,732	(実) 3,985 (調) 5,634	(実) (調)	(実) (調)	(実) 4,142 (調)
削減率		(実) 7.1 % (調) 1.7 %	(実) % (調) %	(実) % (調) %	(実) 3.5 % (調) %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原 単 位 等 の 活 動 量		延床面積		原単位等の単位	t-CO2/㎡
	基準年度	第 1 年 度	第 2 年 度	第 3 年 度	目 標 と し た 値
	(2022 年度)	(2023 年度)	(年度)	(年度)	
排出量原単位等の値	0.0271	0.02517			0.026287
活動量の値	158,319	158,319			-
排出量原単位等の削減率		7.1 %	%	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	コロナの影響も少なくなり、出社率の上昇に伴うエネルギー負荷の上昇もある中、5類移行により換気量の平常化も行い、概ね削減傾向となったが、「MEEFULL川崎」の基準年度の稼働が3カ月（新規物件）だったため、1年目の当ビルもフル稼働となり、増加した。				
第2年度					
第3年度					
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)					
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)					

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	①ラゾーナ川崎東芝ビル ○推進体制の整備 排出量の相互把握を行い、情報共有体制を維持する。 ○空調調和の管理 ブラインドの管理による負荷の軽減および使用状況に応じた設備の運転時間・温度等の適切な設定を行う。 ○換気設備の効率管理 二酸化炭素濃度を定期的に測定し、換気量・時間を調整する。 ○照明設備の効率管理 照明の点灯を施す区画の限定、過剰又は不要な点灯防止のための点灯時間短縮又は消灯の実施。 ②NREG川崎ロジスティクスセンター ○推進体制の整備 排出量の相互把握を行い、情報共有体制を維持する。 ③その他施設 ○施設ごとの特性に合わせて、上記各対応を準用する。
第 1 年度	上記、各措置を実施。 ①テナントとの連携を継続強化、来年度の集約化に向け対応中。 ②情報共有継続 ③各施設担当者異動時に、対応の再認識を実施・
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	

(2) 再生可能エネルギー等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光発電設備	NREG川崎ロジスティクスセンター屋上に260kWの発電パネルを設置(250kW売電、10kW自家消費)	2014年3月

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	4,291 t-CO ₂	3,985 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	3,216 KL	3,196 KL	KL	KL
事業所の数	9	9		

（2）事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
ラゾーナ川崎東芝ビル	川崎市幸区堀川町72番34号	2,901	2,380		

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
NREG川崎ロジスティクスセンター	川崎市川崎区池上新町3-1-3	1,106	1,133		